

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
学校教育学部	初等教育教員養成課程	夜・通信	79	-	337	416	13	
		夜・通信						
	夜・通信							
	夜・通信							
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ：シラバス（大学院・学部） (https://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ：役員等紹介 (https://www.juen.ac.jp/050about/010info/070director.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人役員	令和2年4月1日～令和3年3月31日、令和3年4月1日～令和5年3月31日、令和5年4月1日～令和7年3月31日、令和7年4月1日～令和9年3月31日	経営環境、社会連携、外部評価
(備考) 本法人は、国立大学法人法別表で定める理事の員数が3名以下のため、学外者である理事の数は1名で可とされている			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバス作成にあたっては、本学シラバス作成要領により記載項目等の内容を定めている。 掲載内容は、授業の到達目標、授業の概要、実務経験、授業時間外の課題等、授業計画・内容、成績評価の方法、テキストなどとしており、例年、3月中に授業担当教員に学務情報システムからの入力を依頼するとともに、4月当初に公表し、学生が授業開始前に確認できるようにしている。</p>																				
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページ：シラバス（大学院・学部） (https://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html) 及び学務情報システムで公表</p>																			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価は、本学学校教育学部履修規程において以下のように評価基準を規定し、シラバスに記載した成績評価の方法等に基づき実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>評価の基準点</th> <th>評価の結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>100点～90点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89点～80点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79点～70点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69点～60点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>59点以下</td> <td>不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、本学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則において、成績評価に対する疑義について、教員への相談や異議の申立の制度を設けている。</p>			評語	評価の基準点	評価の結果	S	100点～90点	合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）	A	89点～80点	合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）	B	79点～70点	合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）	C	69点～60点	合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）	D	59点以下	不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）
評語	評価の基準点	評価の結果																		
S	100点～90点	合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）																		
A	89点～80点	合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）																		
B	79点～70点	合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）																		
C	69点～60点	合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）																		
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）																		
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																				

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAについては、本学学校教育学部履修規程において規定しており、以下の方法により算出している。</p> <p>①履修し成績が付与された各授業科目の成績に対して、次に掲げるグレード・ポイント (GP) を与える。</p> <table border="0"> <tr> <td>成績</td> <td>GP</td> </tr> <tr> <td>S (90点～100点)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>A (80点～89点)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B (70点～79点)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>C (60点～69点)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D (59点以下)</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>②GPAは、次の算式により算出し、小数点第3位を四捨五入する。 (当該年度に成績が付与された各授業科目等の単位数×GP) の和 ÷ 当該年度に成績が付与された各授業科目等の単位数の和</p>		成績	GP	S (90点～100点)	4	A (80点～89点)	3	B (70点～79点)	2	C (60点～69点)	1	D (59点以下)	0
成績	GP												
S (90点～100点)	4												
A (80点～89点)	3												
B (70点～79点)	2												
C (60点～69点)	1												
D (59点以下)	0												
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学学校教育学部履修規程を本学ホームページ：国立大学法人上越教育大学規則集 (https://www.juen.ac.jp/050about/010info/100rule.html) に掲載するとともに、学生に対しては履修の手引でも周知している。</p>												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>													
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定に関する方針は、所定の124単位を修得することにより、本学が考えている資質・能力を満たした者に対して、卒業を認定し、学士(教育学)の学位を授与することとしている。</p> <p>また、その判定に当たっては、教務委員会及び教授会において審議し、学長が認定している。</p>													
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページ：学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針 (https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html) に掲載するとともに、学生に対しては履修の手引でも周知している。</p>												

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ：財務諸表等 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)
収支計算書又は 損益計算書	大学ホームページ：財務諸表等 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)
財産目録	該当なし
事業報告書	大学ホームページ：財務諸表等 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)
監事による監査 報告(書)	大学ホームページ：財務諸表等 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称：)	対象年度：)
公表方法：	
中長期計画(名称：国立大学法人 上越教育大学中期計画 対象年度：令和4年度～令和9年度)	
公表方法：大学ホームページ：業務方法書及び中期目標・中期計画 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/040middle/index.html)	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページ：各種評価情報 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/080assessment/index.html)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法：大学ホームページ：大学機関別認証評価 (https://www.juen.ac.jp/070koukai/080assessment/ninsyou/index.html)
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 学校教育学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html</p>
<p>(概要)</p> <p>「21 世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html</p>
<p>(概要)</p> <p>学校教育学部で所定の単位を修得することにより、以下に示す資質・能力を満たした者に対して、卒業を認定し、学士（教育学）の学位を授与する。</p> <p>ア 教職に求められる専門的知識を実践的に習得し、豊かな学識と優れた技能を身につけている。【知識・技能】</p> <p>イ 学校教育の様々な課題について、各領域で習得した幅広い知識をもとに、解決策を提案できる。【思考力、判断力、表現力】</p> <p>ウ 学校における教育実践を省察し、よりよい社会を目指して多様な人々と協働しながら自らの専門性を高めていくことができる。【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p> <p>エ 教育に対する熱意を持ち、教育者としての使命を自覚している。【人間力】</p> <p>オ 人間として求められる豊かな教養とともに、善いものや美しいものに憧れる感性を備えている。【人間力】</p> <p>カ 人間の成長や発達についての深い理解と教育的愛情に基づき、一人一人の子供の学習と生活を支援できる、実践的指導力を有している。【教育実践力】</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 学校教育学部の目標達成に資するよう、カリキュラムは以下の科目で編成・実施する。</p> <p>ア 教員の原点である人間理解を、体験と観察・参加を通じて実践的に深めることを目的とする科目（人間教育学関連科目）【知識・技能】【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】【人間力】</p> <p>イ 初等教員として求められている教育的情報処理能力と表現能力を育成するための科目（相互コミュニケーション科目）【知識・技能】【人間力】</p> <p>ウ 十分な基礎学力を補習するとともに初等の教科専門性を培い、更に専門科目への橋渡しをするための科目（ブリッジ科目）【知識・技能】【思考力、判断力、表現力】</p> <p>エ 各教科の指導法、ガイダンス及び教育実習によって教育実践力を養成することを目的とする科目（教育実践科目）【思考力、判断力、表現力】【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】【教育実践力】</p>

オ 本学が取り組んでいる特色ある教育を広く紹介し、未来の学校教育に対する確かな展望の形成を目指す科目（特色教育科目）【知識・技能】【思考力、判断力、表現力】【教育実践力】

カ 教員として必要な知識技能を修得したことを確認するための科目（教職実践演習科目）【知識・技能】【思考力、判断力、表現力】【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】【教育実践力】

キ コース・領域ごとに専門科目及び専門セミナーから構成され、総合的かつ専門的な問題解決能力の形成を目指すための科目（専門科目）【知識・技能】【思考力、判断力、表現力】【教育実践力】

ク コース・領域の専門科目に関する修業を集約発展させて、その成果をまとめ上げるための科目（卒業研究）【思考力、判断力、表現力】【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

(2) 学修成果の評価については、スタンダードやルーブリックで定める到達目標を踏まえ、客観性、厳格性を確保するため、学生に対し成績評価の基準をあらかじめ明示し、授業形態に応じた適切な評価方法により行うものとする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針及び学生募集要項）

<https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R08faculty.html>

(概要)

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。【知識・技能】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力】

ウ 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

エ 教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜（Ⅰ型・Ⅱ型）の五つの方法により、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜する。

選抜区分	選抜方法	学力の3要素等			
		知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○		
	小論文		○		
	集団面接			○	○
	調査書			○	
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	調査書			○	
学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	推薦書	○	○	○	

	自己推薦書			○	○
	調査書			○	
総合型選抜 Ⅰ型（新潟 次世代教員 養成プログラ ムに係る 選抜）	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接（プレゼン テーションを含む）		○	○	○
	プログラム（前期） 総合評価		○	○	○
	調査書			○	
総合型選抜 Ⅱ型	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接（プレゼン テーションを含む）	○	○	○	○
	自己推薦書	○	○	○	○
	調査書			○	

○：主な評価項目

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ：公開情報の大学の教育活動に関する情報－学校教育法施行規則第172条の2に規定する情報－
(<https://www.juen.ac.jp/070koukai/060rule/index.html>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
大学院学校教育研究科	—	61人	26人	10人	4人	0人	101人
その他	—	1人	3人	1人	1人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		41人					41人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページ/研究者データベースにて公表 https://staff.juen.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template1					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員相互の授業参観、大学教育における合理的配慮に関する研修会や講演会などを開催							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
学校教育学部	160人	172人	107.5%	640人	680人	106.3%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	160人	172人	107.5%	640人	680人	106.3%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
学校教育学部	157人 (100%)	13人 (8.3%)	141人 (89.8%)	3人 (1.9%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	157人 (100%)	13人 (8.3%)	141人 (89.8%)	3人 (1.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先 … 上越教育大学大学院学校教育研究科				
主な就職先 … 公立学校教員（新潟県、長野県、富山県、新潟市、石川県等）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
学校教育学部	164人 (100%)	154人 (93.9%)	5人 (3.0%)	5人 (3.0%)	0人 (0%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	164人 (100%)	154人 (93.9%)	5人 (3.0%)	5人 (3.0%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
シラバス作成にあたっては、本学シラバス作成要領により記載項目等の内容を定めている。掲載内容は、授業の到達目標、授業の概要、実務経験、授業時間外の課題等、授業計画・内容、成績評価の方法、テキストなどとしており、例年、3月中に授業担当教員に学務情報システムからの入力を依頼するとともに、4月当初に公表し、学生が授業開始前に確認できるようにしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価は、本学履修規程において以下のように評価基準を規定し、シラバスに記載した成績評価の方法等に基づき実施している。				
評語 評価の基準点 評価の結果				
S	100点～90点	合格	(シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。)	
A	89点～80点	合格	(シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。)	
B	79点～70点	合格	(シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。)	
C	69点～60点	合格	(シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。)	
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない。	(シラバスに記載された到達目標等に達していない。)	
また、本学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則において、成績評価に対する疑義について、教員への相談や異議の申立ての制度を設けている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
学校教育学部	初等教育教員養成 課程	124 単位	㊦・無	(入学年度) 48 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：該当なし		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：該当なし		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ：大学紹介－キャンパスガイド－

(<https://www.juen.ac.jp/050about/020campus/index.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
学校教育 学部		535,800 円	282,000 円	0 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

修学支援の一環として、オフィス・アワーを実施している。オフィス・アワーとは、教員が各研究室等において、学生から履修相談や授業に関する質問等の相談に応じるため、あらかじめ設定した時間帯をいう。この時間帯に研究室等に行けば必ず教員に会うことができ、履修上の問題解決に役立つ取り組みを行っている。

日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者である入学者及び入学料徴収猶予を希望する入学者については、入学手続き時に必要書類を提出することにより、入学料の徴収を入学後まで猶予している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

就職や進路に関する相談や情報提供をプレイスメントプラザにおいて行っている。プレイスメントプラザでは、就職・進路に関する各種資料を揃えており、学生にこれらを自由に閲覧し学習できる環境を提供している。また、特任教員のキャリアコーディネーター（公立学校の校長職経験者）が学生に対して個別指導（論作文・自己PR文の添削、面接対策等）を行うなど、きめ細やかな就職支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生及び教職員の心身の健康保持と増進を図ることを目的として、保健管理センターを設置している。ここでは、専門の職員が学生等の心身の健康状態を客観的に把握し、指導・助言を行っている。また、各種の疾病や怪我に対する応急処置も行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ：公開情報の大学の教育活動に関する情報－学校教育法施行規則第172条の2に規定する情報－

(<https://www.juen.ac.jp/070koukai/060rule/index.html>)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F115110105064
学校名 (〇〇大学 等)	上越教育大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	国立大学法人上越教育大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		56人（ ）人	60人（ ）人	-（ ）人
内訳	第Ⅰ区分	29人	24人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	-	17人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	12人	-	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
区分外（多子世帯）	人	人		
家計急変による 支援対象者（年間）				-（ ）人
合計（年間）				64人（ ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	-	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2 年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。